

5 学年 道徳科（人権）学習指導案

- 1 主 題 自他を大切に
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

インターネット上における差別や人権侵害について理解し、インターネット上であってもそうでなくても相手の立場になって物事を考え、行動しようとする態度を育てる。

4 指導計画

（1）これまでの学習

- 道徳科 「ちがうことばんざい」（ひかり）・・・1時間
- 道徳科 「守ろうインターネットモラル」（ひかり）・・・1時間

（2）現在の学習

- 道徳科 「ネットいじめは人権侵害」（ネット社会の歩き方）・・・2時間（本時2/2）

（3）これからの学習

- 道徳科 「最後のおくりもの」（新しい道徳5）・・・1時間
- 社会科 「未来とつながる情報」（小学社会5）・・・1時間

5 本時の学習

（1）目 標

個人によって考え方のちがいがあることを理解し、自分の行動を見つめ直し、相手の立場になって考え行動しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	B-（7）親切、思いやり
-------------	--------------

（2）普遍的な学習のテーマ 人権の尊重

個別人権課題名 インターネットによる人権侵害

（3）展 開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の振り返りから本時の課題をつかむ。	○ 各登場人物の心情を振り返ることで本時の学習の方向付けをする。
相手の立場になって考えるにはどうしたらよいか考えよう。	
2 様々な事例から自分の気持ちを表し、各個人の考えの違いに気付く。	○ 自分の考えと他者の考えの違いについて気付かせ、意見共有させる。 ①
3 相手の立場になって考え行動するためには、具体的にどのようなことができるのかについて考える。	○ 他者との考えの違いがあることをふまえて相手の立場になって行動するにはどうしたらよいかについて考えさせる。
4 本時を振り返り、自分のこれからの行動について考える。	○ 本時の学習から、相手の気持ちを考えて行動していこうとする意欲を高めさせる。 ②

（4）評 価

- 個人の考え方にちがいがあることを理解することができたか。 【知識的側面】①
- 相手の立場になって自分の行動を見つめ直し、人権問題解決のために行動しようとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】②